

## 不登校生徒の中央図書館職場体験の実施について

### 1 趣旨

令和2年度に示された教育委員会事務局「不登校増加対策プロジェクトチーム」の報告を踏まえ、図書館業務の体験、配布物等の制作を通して、達成感や社会とのつながりを意識してもらい、個々の自立や今後の図書館利用へつなげる。

### 2 実施日時

令和3年11月30日（火）（月末休館日）  
13:00～15:45

### 3 参加生徒数

6名（フレンドセンター利用者から応募）

### 4 スケジュール

13:00～13:15	図書館業務、スケジュール説明等
13:15～14:15	配架・書架整理
14:15～14:30	休憩
14:30～15:30	製本作業（おすすめ本・よんでよんで等のホチキス止め 二次装備（漫画の「館内」シールへのキーパー貼り）
15:30～15:45	まとめ

※ 館内に展開しながら、書籍に触れたのち配付資料を作製、設置までを担う。

### 5 生徒控室

2階ティーンズルーム

### 6 その他

- ・図書館で用意したエプロン・名札を着用する。
- ・窓口業務・督促・レファレンス・予約連絡等個人情報に関わる仕事は体験実習項目としない。

### 7 当日の様子



## 8 参加者の感想（アンケート）

- ・ もともとやってみたい仕事だったからよかった。
- ・ 透明のシールを貼るのが楽しかった。
- ・ 本の並べ替えや配架の仕事は、難しかったけど楽しかった。
- ・ 普段できないことができて良かった。
- ・ 本を戻したりするのができて、やり方が分かった。
- ・ 普通の人ではできない体験ができて、行って良かった。
- ・ 本の整理が好きなので、とても楽しかった。

## 9 その他

- 教育委員会事務局の不登校対策の方針を踏まえて、「体験活動の場づくり【不安解消・社会との接点の創出】」の視点から事業を開催した。
- 慣れ親しんだ仲間と、休館中の静かな施設環境のためか、それぞれ真面目にテキぱきと作業を支障なく行った。社会活動の体験は一定達成できたと思われる。
- 作業終了後、図書館から読書について書かれた書籍を全ての参加者と、フレンドセンターの書棚に寄贈し、今後、図書館の利用につなげ図書館が、学びの居場所となるように説明した。